

地域の住宅建設を支える地元大工による 応急仮設住宅建設と地域型復興住宅に向けて(1)



独立行政法人 建築研究所 住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩田 司

1. はじめに 木造による応急仮設住宅実施の経緯

○東日本大震災による建物被害
全壊家屋 128,530棟
半壊 240,332棟
一部損壊 659,908棟
*2012年1月16日警察庁緊急災害対策本部

○大量の応急仮設住宅建設が必要
*震災直後：60,000戸と推定

↓
様々な主体による
応急仮設住宅の建設

地域の
活性化

地域の資源
—地場産材・人材—
を活用した
木造応急仮設住宅
の実施

被災地域の復興支援の観点も踏まえ、地域の工務店などの建設業者などによる
地域材を活用した住宅などを応急仮設住宅として活用するよう各県の取組を支援すること
*2011年4月1日、国土交通省緊急災害対策本部において、大島国土交通大臣による指示

2. 福島県における木造応急仮設住宅建設の経緯

○福島県内における避難者用住宅
必要戸数：20,000戸
○空き家ストック
公営住宅：1,000戸
民営借家：5,000戸
*民営借家の数は1981年の耐震基準の改正以降建設された建物
福島県宅地建物取引業協会調べ

○応急仮設住宅
必要建設戸数
14,000戸
内プレハブ建築協会
10,000戸建設可能
不足分=4,000戸
を一般公募

候補者の公募

○公募期間
2011年4月11～18日
○候補者に求められる条件
・100戸以上の建設能力
・県内の業者
・実績
過去3年間に20戸以上
団体の場合は30戸以上
・県産材の活用
・地元の雇用促進
・被災者の雇用

3. 三春町における木造応急仮設住宅の建設

建設場所と住戸タイプ

○齊藤場上田：16戸
・1DK=20㎡：3戸
・2DK=30㎡：10戸
・2LDK=40㎡：3戸
○中妻分館前：15戸
・1DK=20㎡：3戸
・2DK=30㎡：9戸
・2LDK=40㎡：3戸
○柴原菰久保：50戸
・1DK=20㎡：10戸
・2DK=30㎡：30戸
・2LDK=40㎡：10戸
○旧中郷小学校：19戸
・1DK=20㎡：4戸
・2DK=30㎡：11戸
・2LDK=40㎡：4戸

12団体が選定される

○鉄骨造：500戸
・ユニット式：150戸
・プレハブ式：350戸
○木造：3,500戸
・パネル工法：220戸
・丸太組：500戸
・軸組工法：2,780戸



齊藤場上田応急仮設住宅



杉香る応急仮設住宅の室内

このうち100戸分を「三春町復興住宅つくる会」が三春町内に建設

*三春町復興住宅つくる会：JIA福島地域会が三春町に入札願いを提出している建築業者に参加を呼びかけ、そのうち5社で結成された
参加5社：(株)はしもと住宅店(代表)、(有)サンワケン住宅、(有)信和創建、(有)宗像工務店、(株)渡伝組
公募書類作成、および設計、監理はJIA東北支部福島地域会の三春設計者が担当

地域の住宅建設を支える地元大工による 応急仮設住宅建設と地域型復興住宅に向けて(2)



独立行政法人 建築研究所 住宅・都市研究グループ 上席研究員 岩田 司

4. 三春町における木造応急仮設住宅の特徴



在来軸組工法：一般の小規模工務店や大工が誰でも可能な工法を採用。構造材は入手が容易な120mm角の杉材。**メッシュ筋入りコンクリートべた基礎**：松杭は機械が無いと手間がかかる、コンクリートも再生骨材として再利用可能なことからコンクリート基礎を採用。この結果玄関土間を室内に確保。



外張り断熱外壁通気工法：スタイロフォーム(厚30mm)を張り、防水透湿シートで気密性を確保。外部建具はペアガラスの樹脂サッシ。屋根は折半で天井断熱、小屋裏換気をとる。**内外装はすべて杉板張り**：地域の地場産材を生かし、自然素材による被災者への癒やしの効果を期待。



戸建て形式：連棟式では若干の起伏のある敷地に対応するのが困難、入居者はアパートなどへの居住経験が無いため隣の音が気になるなどの問題が生じる、等を考慮し、隣戸間に隙間(60cm)をとる。コミュニティ形成の観点から南入り、北入りのタイプを設計し、玄関を向かい合わせに配置。

5. 地域型復興住宅建設に向けて

- 地域の活性化
地域資源の活用
地場産材・人材
- 持続可能社会の実現
増築、改築、修繕等の
継続的な職業機会
地域資源の循環
- 組織化による信頼性、
効率性の実現

地域 住宅産の 組織化

原木供給業者
製材工場
プレカット工場
建材流通事業者
建築士
工務店

- 地域の住文化に根ざした住まいの仕様
気候風土・地場産材・地域性・場所性
- 高機能、高性能な住まい
省エネルギー性能・長寿命性能
- 自然素材の活用による健康住宅
- 材料のトレーサビリティ
原産地証明・加工履歴：品質の保証
- 性能保証、施工保証、履歴情報

金山杉住宅をつくる会で実践

○地域毎の住宅生産システムづくりの支援 ・地域型住宅ブランド化事業

：平成24年度国土交通省事業(予定)

・「ふくしまの家」復興住宅供給システム

：福島県による公募

東北地方の 地場産材の 活用・組織化

岩手：気仙
宮城：津山
福島：田村
山形：金山
・・・

樹齢270年の金山杉の美林
山形県金山町大美輪



美しい街並みに生える
地元資源活用の金山杉住宅



長岡市山古志地区の
地域型復興住宅(桂谷団地)

